



Safe Crop Project News



No.35 2021 年 7 月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016 年～2021 年）」は、北部地域 2 市 11 省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライ・チェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

2016年7月に開始された本プロジェクト、後半は新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校閉鎖や対象地域のロックダウン等、対象グループの販路が絶たれる困難にも直面しましたが、関係者の支援と対象グループの自助努力により、当初の計画通りプロジェクト目標が達成され、7月下旬に終了を迎えます。最終号となる今号では第6回JCCの報告をさせていただきます。

第6回JCC開催

6 月 17 日に農業農村開発省 (MARD) の Doanh 副大臣を議長に、第 6 回 JCC が開催されました。前回に引き続き MARD 情報統計センターから各参加者を繋いだオンライン開催となりましたが、CPMU (Central Project Management Unit)、各市・省の PPMU (Project Management Unit) を始め総勢 60 名以上が参加し、活発な議論が行われました。



JICA ベトナム事務所清水所長による開幕の挨拶

開幕に際し、Doanh 副大臣からは今回の会議でプロジェクト実施で得た経験と成果を議論することは、プロジェクトの成果拡大に向けて方向性を示す土台となる旨、述べられました。清水 JICA ベトナム事務所長からは、新型コロナウイルスの感染拡大は農業バリューチェーンに影響を及ぼした一方、市場環境の変化に対応することで、安全で信頼できる農産物をグローバルサプライチェーンに供給する機会にも繋がる旨、述べられました。

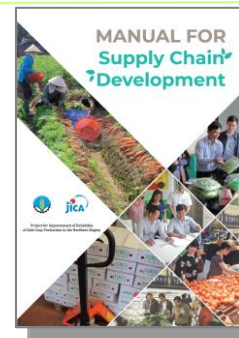
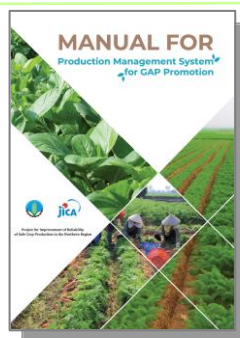
会議ではプロジェクトで達成された成果の確認、終了時評価の提言に基づき改訂された PDM (Version3) の承認、CPMU による上位目標達成に向けた普及拡大計画の発表、プロジェクトで作成された生産管理システムマニュアルとサプライ・チェーン構築マニュアルの紹介が為されました。PPMU からはプロジェクトで実施した土壌消毒や有機堆肥作り等の技術支援、品質管理に係る政府職員的能力強化、記帳に係る意識啓発、マーケティング活動、ハノイにおいて実施された意識啓発活動への高い評価が為されました。一方で、特に新型コロナウイルスの影響で流通形態が変化する中、オンライン販売の強化や保存・前処理に係る支援ニーズも挙げられました。また、ハノイ市 PPMU からは消費者の安全継続的な支援を行うことが提案されました。

プロジェクトダイレクターの作物生産局 Cuong 局長より、JICA 支援への感謝と共に、各省によりプロジェクト成果が普及拡大されるよう、引き続き作物生産局においてもガイダンスと支援を行っていくことが述べられ、会議は閉幕しました。

本プロジェクトは終了しますが、今後は各対象省が既存プログラム予算を活用しながら、立案された実行計画に沿ってプロジェクトモデルを拡大することで、ひいてはベトナム農産物の安全と信頼性の向上に寄与していくことを期待します。

生産とマーケティングマニュアル

プロジェクト活動で得られた知見に基づき、「GAP 促進のための生産管理システムマニュアル」と「サプライ・チェーン構築マニュアル」が編纂されました。各市・省の農業農村開発局職員を対象に、GAP に沿った安全野菜生産とサプライ・チェーン構築を目指す生産者を支援するために必要となる情報とガイダンスを纏めた実践的な内容となっています。越語版のマニュアルと各種研修資料は国家普及センターのウェブサイトよりダウンロード可能です。(http://www.khuyennongvn.gov.vn/)



5 年間ご支援いただきまして、ありがとうございました！！

バックナンバーは下記サイトからご覧いただけます。
<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/041/newsletter/index.html>